

2014年9月期 決算説明会



2014年11月28日

当資料取扱上の注意点

当資料に記載されている、当社の計画や戦略、業績に関する予想及び見通しのうち、歴史的事実を含んでいないものは、当社が現時点で把握可能な情報から判断した想定及び所信に基づくものであります。実際の業績は様々な要因により大きく異なる結果となる可能性もある事をご承知おきください。

会社の事業に影響を与える可能性のある事項の詳細は、「2014年9月期 決算短信」の「事業等のリスク」をご参照ください。但し、業績に影響を与える可能性のある要素は、「事業等のリスク」に記載されている事項に限定されるものではないことをご留意ください。

法律上必要とされる場合を除いて、当社は事前の予告なく、将来の見通しに関する記述を見直したり、将来の見通しの根拠となった仮定及び要因についての変更を行うことがございますので、ご了承ください。

【IRに関するお問い合わせ先】

経営管理部 IR担当

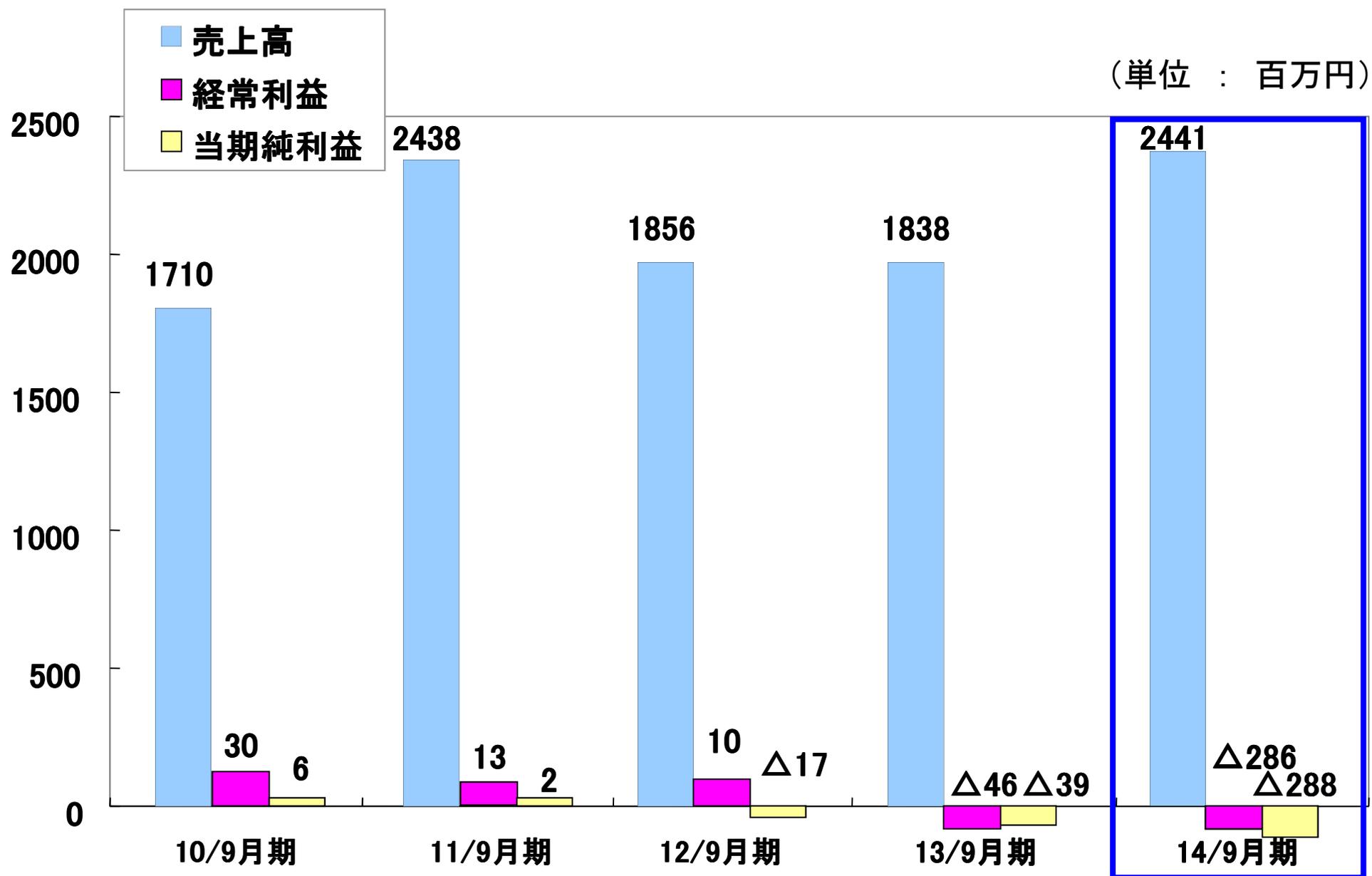
電話 : 03-5649-2100

E-Mail : ir@afs.co.jp



2014年9月期 決算概要

業績の推移



損益計算書

(単位 : 百万円)

	14/9期		13/9期		コメント	
		構成比	前期比	構成比		
売上高	2,441	—	132.8%	1,838	—	ASPサービス月額利用料の緩やかな回復、テーブルオーダーを中心としてシステム機器が順調であった
売上原価	2,109	86.4%	164.0%	1,286	70.0%	棚卸端末の販売計画について慎重かつ保守的に見直した結果、たな卸資産評価損246百万円、ソフトウェア償却22百万円
売上総利益	332	13.6%	60.2%	552	30.0%	
販管費	605	24.8%	103.3%	586	31.9%	
人件費	386	15.8%	101.9%	379	20.7%	
その他	219	9.0%	105.8%	207	11.2%	
営業利益	△273	—	—	△34	—	売上総利益の減少によるもの
営業外収益	0	0.0%	84.2%	0	0.0%	
営業外費用	13	0.6%	103.0%	13	0.7%	
経常利益	△286	—	—	△46	—	
社員数	100名	—		105名		

貸借対照表

(単位 : 百万円)

	13年9月期末	14年9月期末	増減額
流動資産	1,203	1,025	△178
固定資産	466	504	37
(資産合計)	1,673	1,530	△142
流動負債	873	1,067	194
固定負債	118	69	△48
(負債合計)	991	1,137	145
1. 資本金	537	537	—
2. 資本剰余金	143	143	—
3. 利益剰余金	248	△40	△288
4. 自己株式	△248	△248	0
(純資産合計)	681	393	△288
(負債・純資産合計)	1,673	1,530	△142

キャッシュフローの状況

(単位 : 百万円)

	14/9期	前期比	13/9期	コメント
営業活動	13	△64	77	主なものは、当期純利益、減価償却費、売掛金、棚卸資産、法人税
投資活動	△71	+ 36	△108	主なものは、金型及びソフトウェアの設備投資
財務活動	90	+ 137	△47	
現金及び現金同等物の増減額	31	+ 110	△78	
現金及び現金同等物の期首残高	421	△78	500	
現金及び現金同等物の期末残高	452	+ 31	421	

セグメント別売上高

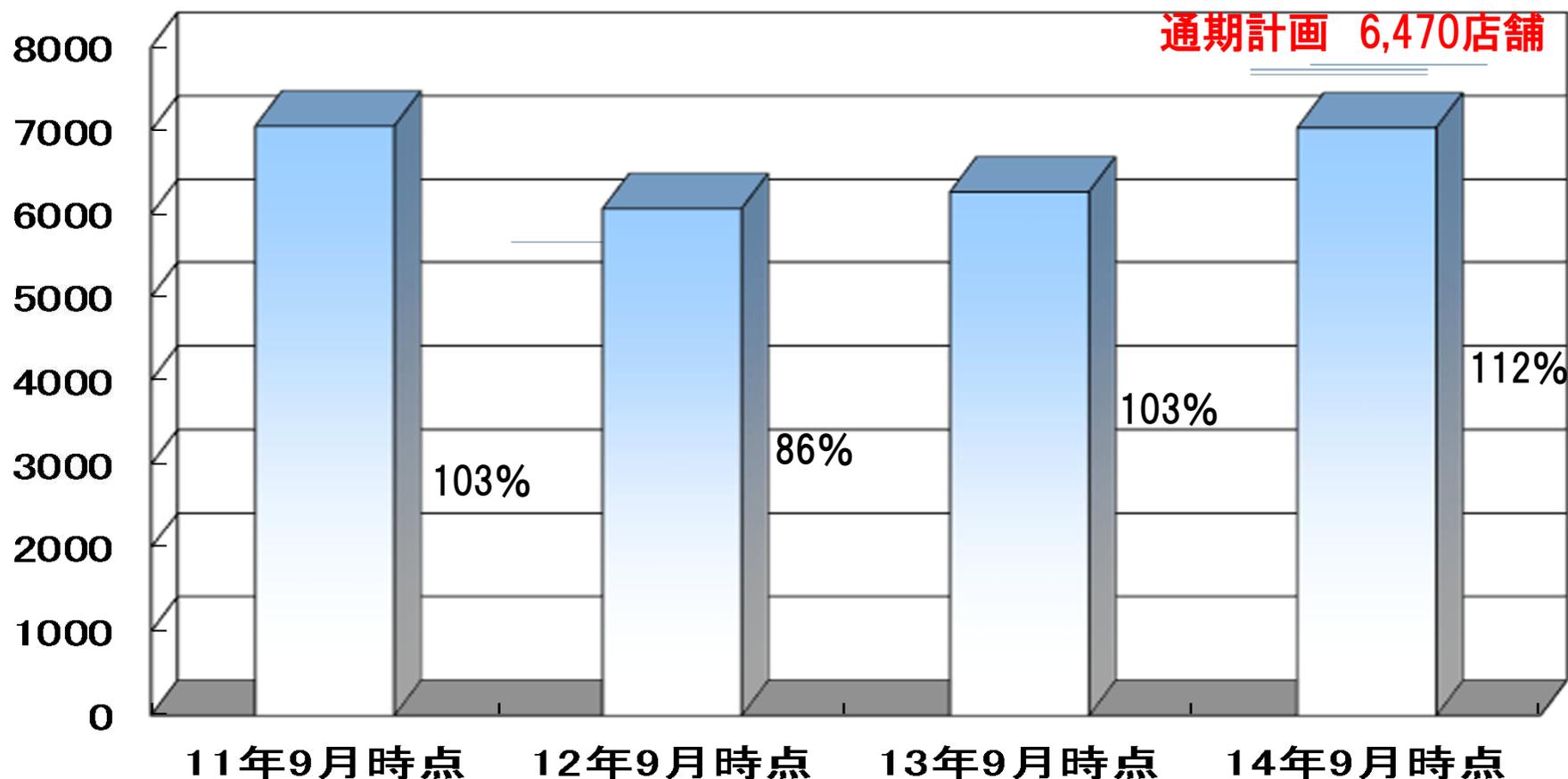
(単位 : 百万円)

セグメント	14/9期			13/9期		コメント
		構成比	前期比		構成比	
ASPサービス 事業	1,075	44.0%	102.5%	1,049	57.1%	ASPサービス月額サービス料は 緩やかながら回復
システム機器 事業	1,071	43.9%	199.6%	536	29.2%	テーブルオーダーシステムを中心 に順調に推移
周辺サービス 事業	294	12.1%	116.7%	252	13.7%	
合計	2,441	—	132.8%	1,838	—	—

主な経営指標の推移①

● ASPサービス事業 — サービス提供数

(単位: 店舗数)

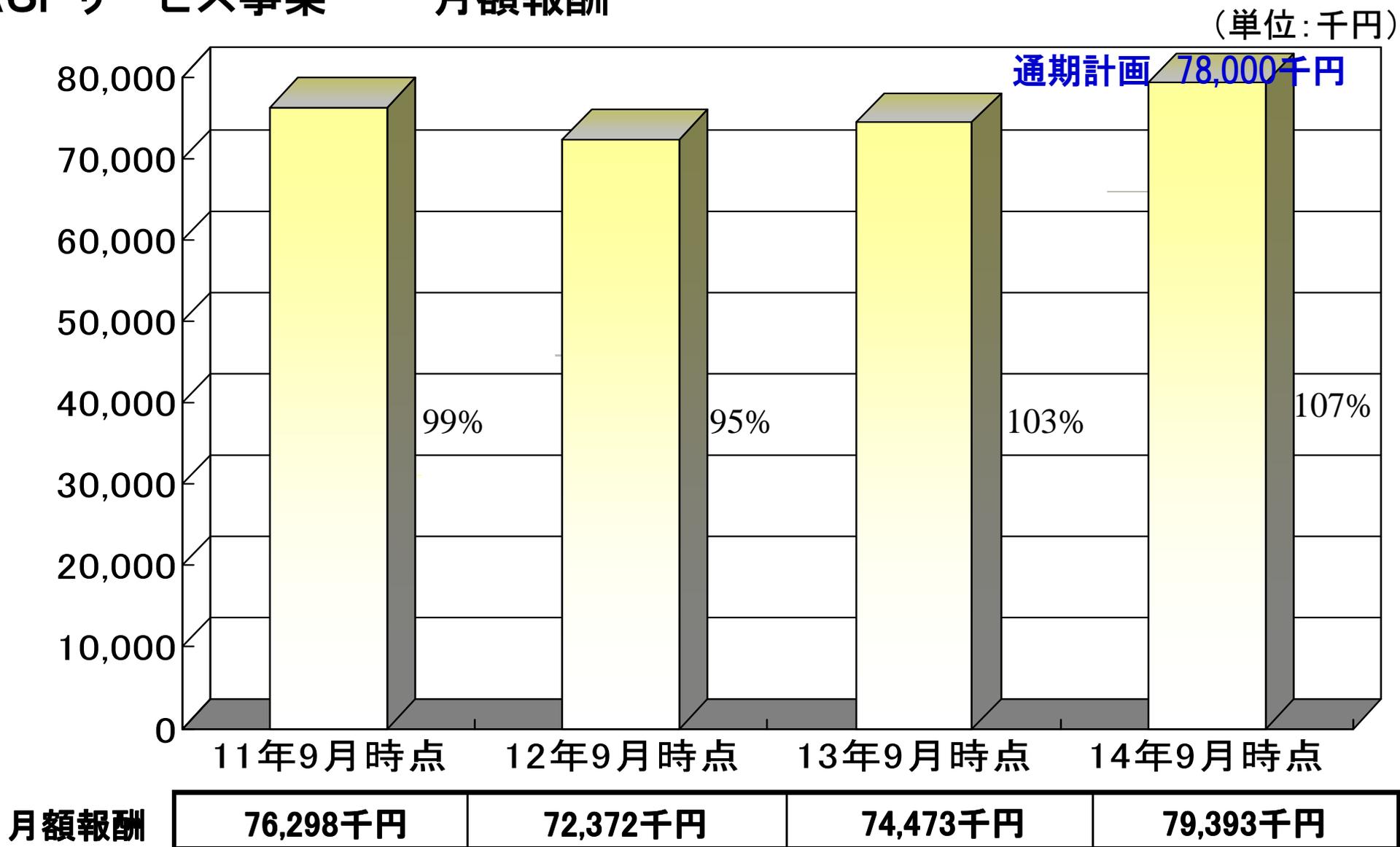


サービス提供数
契約企業数

	11年9月時点	12年9月時点	13年9月時点	14年9月時点
サービス提供数	7,059店舗	6,070店舗	6,270店舗	7,039店舗
契約企業数	308社	306社	289社	282社

主な経営指標の推移②

● ASPサービス事業 — 月額報酬



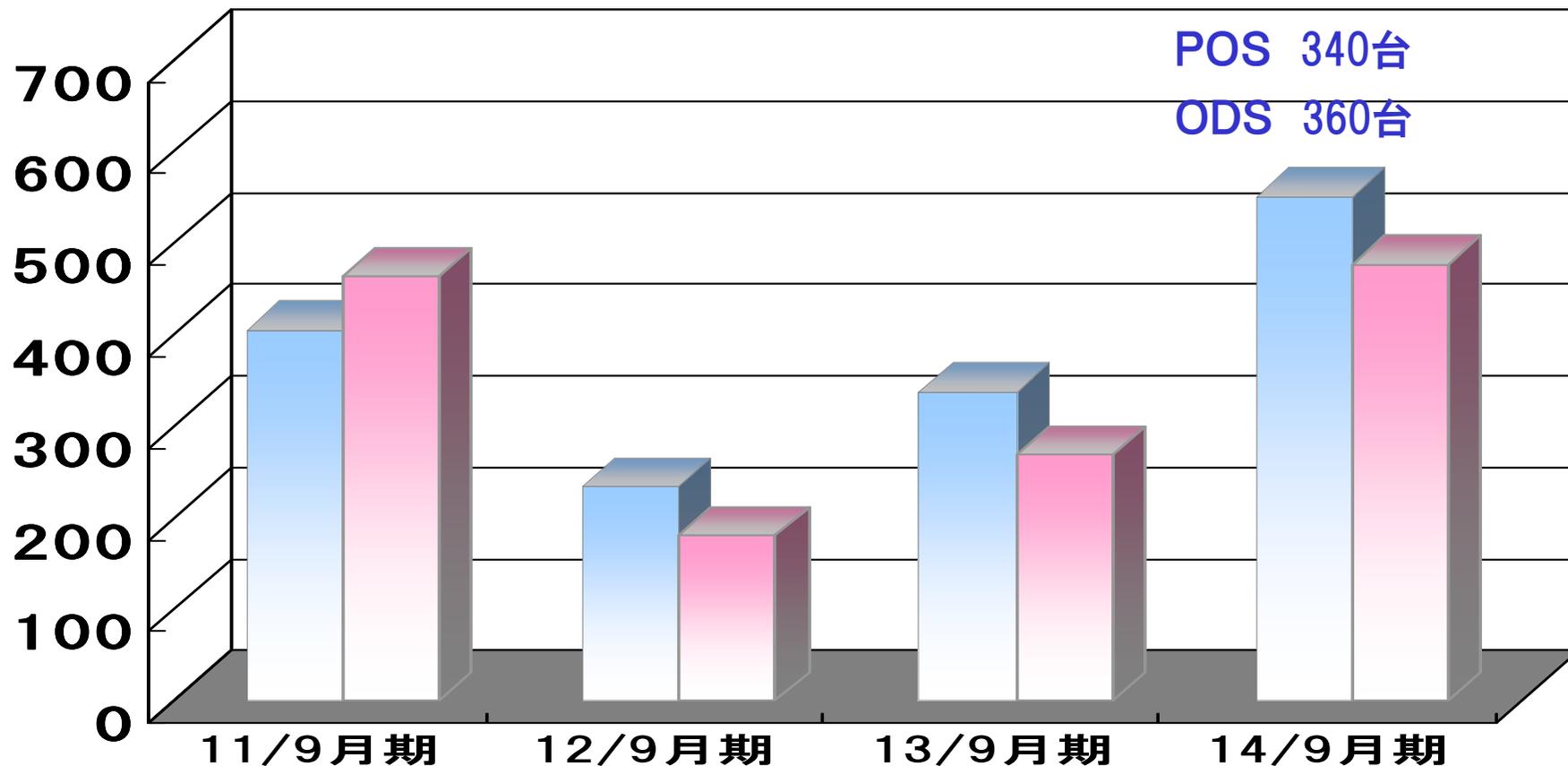
主な経営指標の推移③

● システム機器事業 — POS・ **オーダーショット**
 (ODS※テーブルオーダーを含む)の販売台数

通期計画 (単位:台)

POS 340台

ODS 360台



POS販売台数	405台	234台	338台	551台
ODS販売台数	464台	181台	269台	477台



2015年9月期 事業戦略

2015年9月期 業績予想

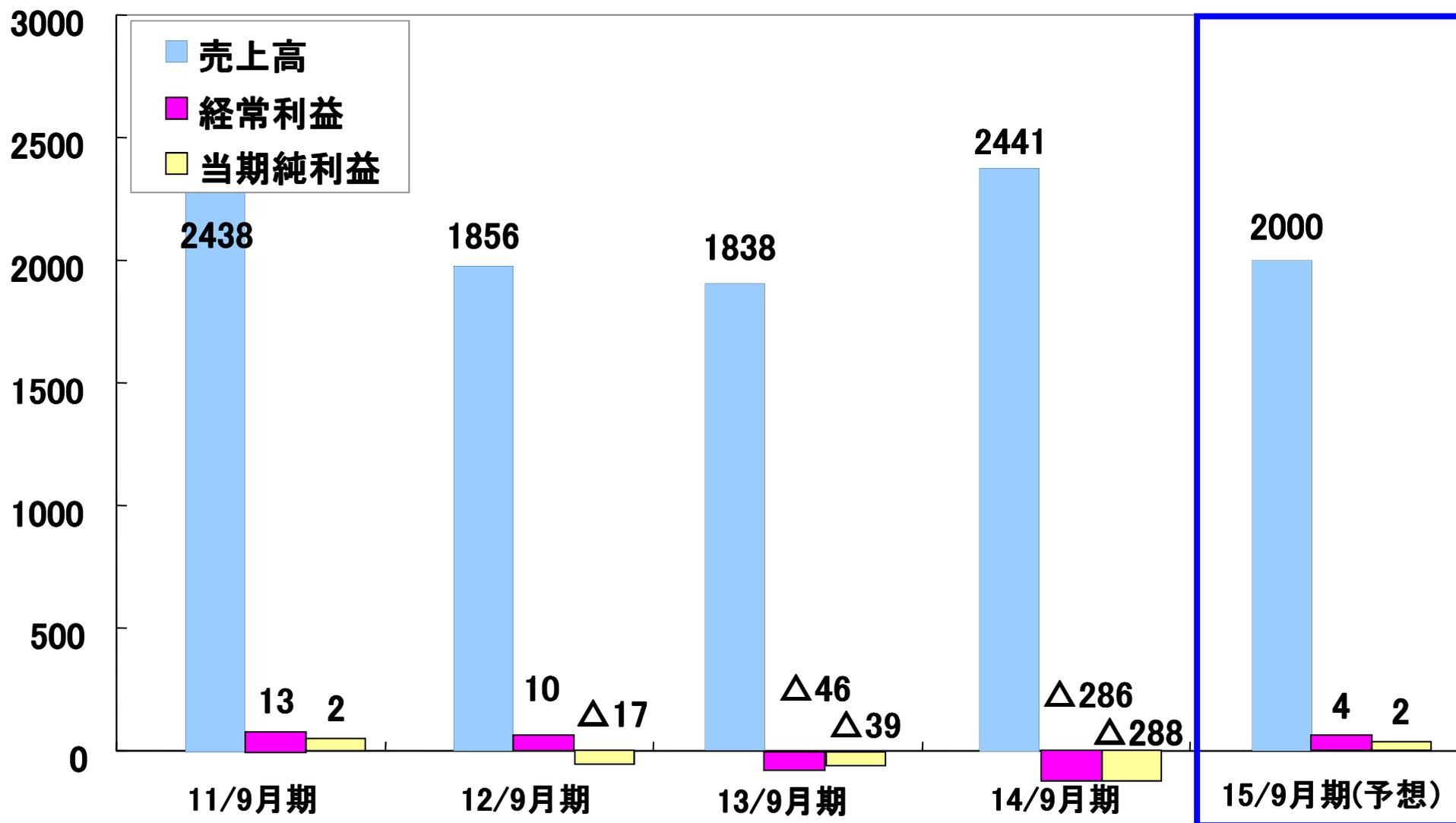
- ASPサービス事業を中心とした事業展開を強化(収益の高い事業)
- システム機器事業の収益構造見直し開始
- 収益力向上のための3か年計画のスタート年度

(単位 : 百万円)

	15/9期(予想)			14/9期	
		構成比	前期比		構成比
売上高	2,000	—	81.9%	2,441	—
営業利益	20	1.0%	—	△273	—
経常利益	4	0.2%	—	△286	—
当期純利益	2	0.1%	—	△288	—

業績の推移予想

(単位 : 百万円)



セグメント別売上高予想

- 当社のコア事業であるASPサービス事業に集中
- ASPサービスの既存顧客維持・利用拡大と新規顧客の獲得
- テーブルオーダーシステム、新POSシステムの推進

(単位 : 百万円)

セグメント	15/9期(予想)			14/9期	
		構成比	前期比		構成比
ASPサービス事業	1,150	57.5%	107.0%	1,075	44.0%
システム機器事業	643	32.2%	60.0 %	1,071	43.9%
周辺サービス事業	207	10.3 %	70.2%	294	12.1%
合計	2,000	—	81.9%	2,441	—

費用の見通し

(単位 : 百万円)

	15/9期(予想)			14/9期		コメント
		構成比	前期比		構成比	
売上高	2,000	—	81.9%	2,441	—	
売上原価	1,365	68.3%	64.7%	2,109	86.4%	
売上総利益	635	31.8%	191.1%	332	13.6%	
販管費	615	30.8%	101.5%	605	24.8%	
人件費	392	19.6%	101.5%	386	15.8%	
その他	223	11.2 %	101.5%	219	9.0%	
営業利益	20	1.0%	—	△273	—	
営業外収益	0	0.0%	—	0	0.0%	
営業外費用	16	0.8%	116.7%	13	0.6%	
経常利益	4	0.2%	—	△286	—	

社員数	103名	103%	100名
-----	------	------	------

今期の取り組みー全体

①前期までの取り組み継続と、更なるシステム機器低価格への対応

ベース部品見直し+機能チップ脱着式で更なる低価格シリーズの充実

②データセンター機能の更なる強化

ISO27001取得後の更なる、オペレーションの改良、向上を図る

③テーブルオーダーシステムの強化

市場ニーズの高い同システムの販売の更なる強化

④製品・サービスの継続的強化

外食統合DBサービス「FOOD GENESIS」の普及

⑤既存ユーザーの海外進出に伴う、海外サービス進出の模索

次の成長目指し、国内での強みである「ハードからソフトまで」を海外で模索

来期の取り組みー全体

①ASPサービスの機能強化とコアビジネスへの集中

統合業務パッケージ「FOOD GENESIS」の完成と社内資源の集中

②データセンターの建設・強化

ASPサービスの要となるデータセンターの建設と設備の強化

③新POSシステムのリリース

「FOOD α 5000」の後継である小型機と超小型機(予定)の2機種

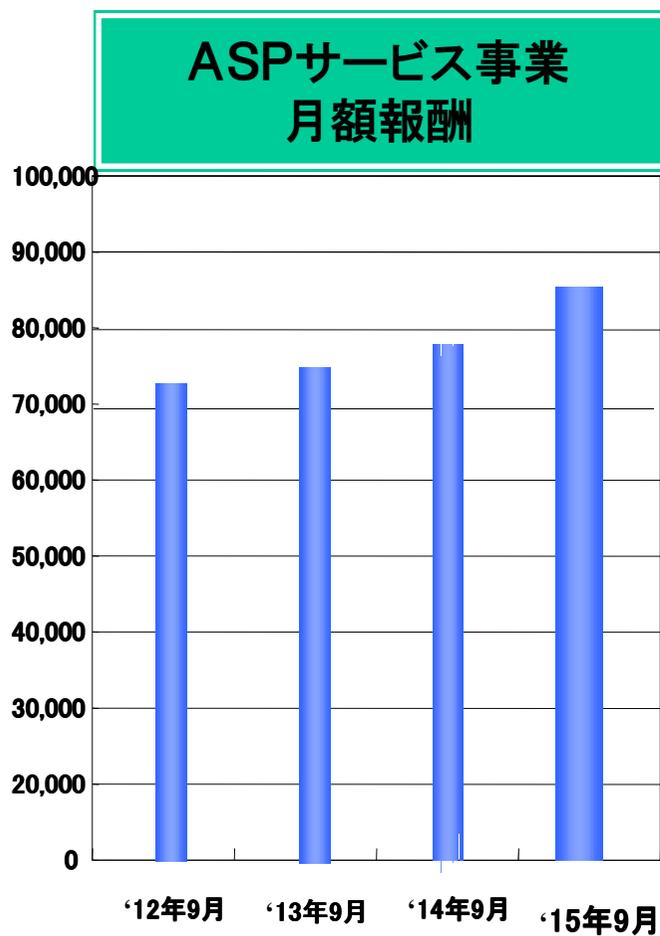
④テーブルオーダーシステムのさらなる推進

ニーズの高いタッチパネル式注文端末により新規顧客を獲得

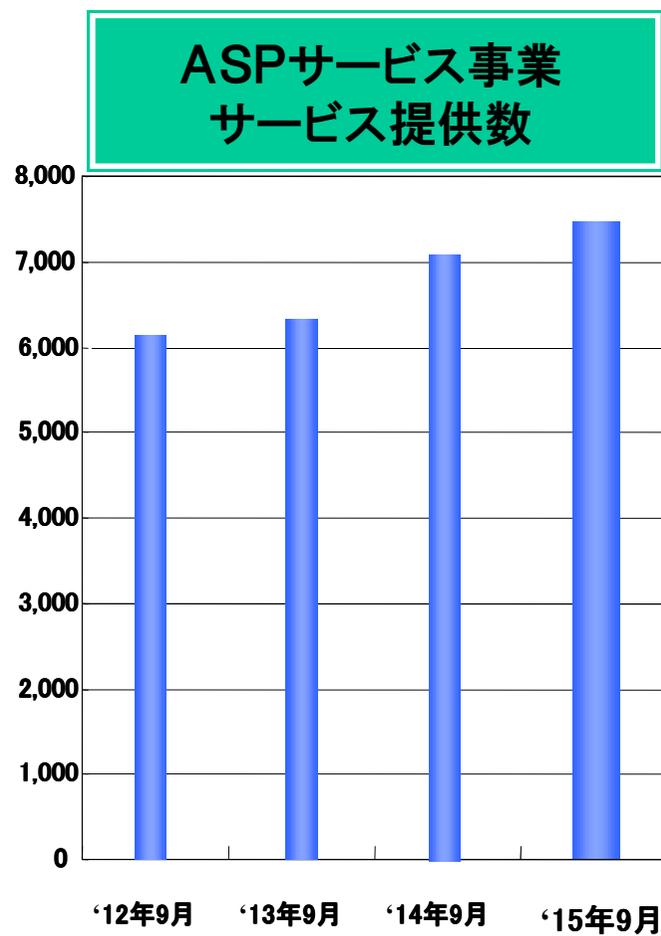
⑤当社の強みを生かしアライアンスによる新ビジネスを検討

当社とアライアンス先のノウハウを生かした新しいビジネスを検討

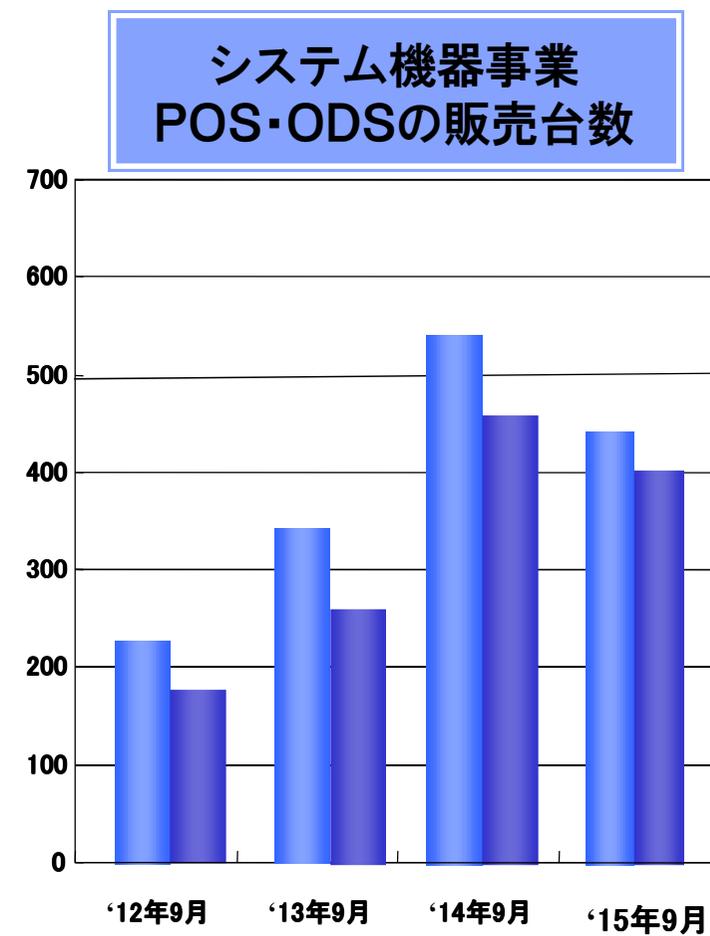
(参考) 主な経営指標の目標



● 前期比7%増の
85,000千円 目標



● 前期比4%増の
300サービス増 目標



● POS
440台 目標

● ODS(テーブルオーダーを含む)
400台 目標



2015年度 中期経営計画の概要

2015年度 中期経営計画 業績目標

(単位:百万円)

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
	実績	計画	計画	計画
売上高	2,441	2,000	2,300	2,500
営業利益	△273	20	53	140
経常利益	△286	4	37	120

～ 収益力の高い企業へ3年間で体質を改善する ～

- ① ASPサービス月額報酬を2017年9月期末に**100**百万円までアップする
- ② 2017年9月期の経常利益**100**百万円以上を確保

- ASPサービス事業を中心とした事業展開を強化
- システム機器事業の収益構造見直し
- アライアンスによる新ビジネスの展開

